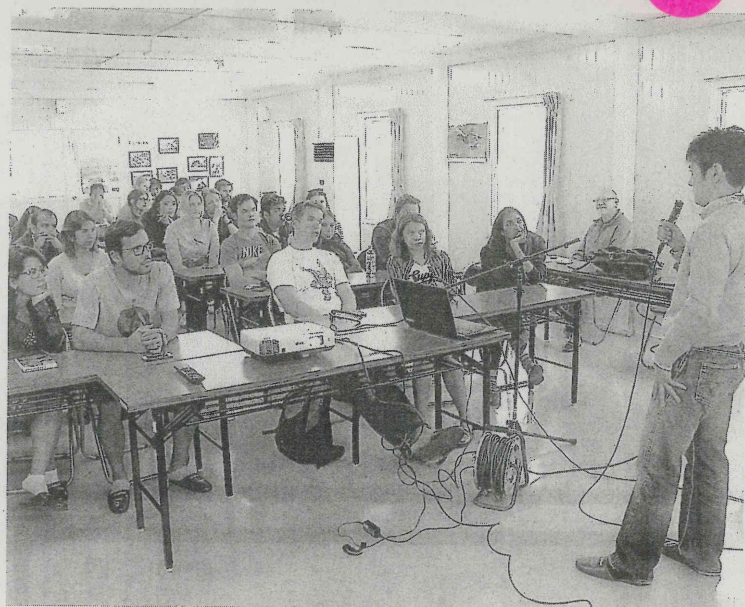




四倉さん（右）の説明に耳を傾ける学生ら

世界的ビジネス学校学生

震災後の現状視察

石巻、東松島

IESEビジネススクー
ル（イエセ）のバルセロナ
キャンパスで学ぶ世界各国
の学生らが4月27日、東松
島市宮戸や石巻市内の企業
などを視察した。

イエセはスペイン発祥の
世界トップランクのビジネ
ススクール。バルセロナを
はじめ、ニューヨークやミ
ュンヘンなどにキャンパス

があり、世界50カ国以上の
学生たちが学んでいる。

約90人の学生らは観光や
研修を兼ねた卒業旅行とし
て4月16日に来日。このう
ち、日本人の5人を含むス
ペイン人、ドイツ人、ブラ
ジル人ら約40人が東日本大
震災の被災状況を把握する
ために訪れた。

宮戸市民センターでは、

復興大学石巻センターのコ
ーディネーター・四倉禎一
朗さんが「宮戸地区では震
災後、人口が1100人か
ら600人に減少した」な
どと震災後の厳しい状況を
説明。石巻市復興まちづく
り情報交流館のリチャード
・ハルバーシユタットさん
が通訳を務めた。

東松島市図書館の英語版

DVDも上映。家屋や乗用
車が津波で流される場面で
は驚きの声を上げ、「津波
が来たら高台に避難し、絶
対に自宅などには戻らな
い」といった市民の言葉に
耳を傾けていた。

宮戸市民センターが運営
する食堂「げんちゃんハウ
ス」でシラウオの天ぷら定
食を味わったほか、大高森
にも登り、自然の素晴らし
さに触れた。

この後、石巻市門脇町に
ある「がんばろう石巻」の
看板に足を運んだほか、同
市吉野町の水産会社ヤマサ
コウシヨウを見学した。